

## 研修報告 D班2グループ ICTを愛して

【テーマ】ICTの人材育成への活用

### 〈1〉大学の役割

大学のあるべき姿を班で議論した結果、大学には大きく分けて三つの役割があるという結論に至った。それは「人材育成」、「研究」、「地域貢献」の三つである。まず、「人材育成」というのは、学生を、社会に出て活躍できるような人物に育て上げるということである。それは、知識に富み、独創性があり、そして自身で考え行動しながら、考えを主張したり他人に正しく伝えたりすることができる人物である。大学はそのような人物を輩出すべきである。「研究」については、大学は最高学府として、国の最先端たり、海外と切磋琢磨すべきである。「地域貢献」については、大学は近隣地域との交流を増やし、学習環境を拡大して提供するなどして、地域の活性化に尽力すべきである。大学は以上三つの役割を果たさなければならない。

### 〈2〉大学の現状

〈1〉で述べた大学の果たすべき三つの役割に照らし合わせ、大学の現状を考える。まず一つ目の「人材育成」の観点から学生の現状を見る。学生は学習することよりも単位を取得することに重きを置いており、出席はするが授業内容を全く聞いていない等、授業を疎かにする傾向がある。また学生同士が話す機会や、人に物事を伝えるという経験や場所が少なくなっており、表現力や発信力が不足している学生が増えている。二つ目の「研究」の観点から現状を見ると、日本の大学の研究レベルは、世界に目を向けるとまだまだ低い。研究に対しての待遇があまり良くない、手続きが煩雑であり研究の制約が多い等の理由で、研究への意欲が減っているためと考えられる。三つ目の「地域貢献」の観点から現状を見ると、多くの大学が地域貢献を始めて間もなく、地域の方々との接点がまだ少ないこともあり、地域からのニーズに十分応えることができていない。以上が大学の現状である。

### 〈3〉問題点の振り返り

議論の結果、〈1〉で述べた三つの役割のうち、「人材育成」にスポットをあてることにした。まず「大学が輩出すべき人材」について班内で議論した結果、コミュニケーション能力、主体的に考える力、知識、独創性、グローバル化意識の五つを備えた学生を育成すべきである、という結論に至った。その一方で学生の現状を考えた時、以下の三つの問題が挙げられた。

#### 現状の問題

##### ①表現力・発信力不足

- ・人の多いところでは主張できない
- ・一部の親しい人とはしか話さない傾向がある

## ②単位重視で授業が疎かになっている

- ・教員が話すだけの一方向授業ゆえに、参加への意思がみられにくい
- ・事前学習はおろか、授業中も試験以外の内容には関心を示さない

## ③国際的意識の欠如

- ・海外との競争に関心が薄く、危機感が足りない
- ・異文化・語学への意識が低く、興味が薄い



そこで我が班は「ICTの人材育成への活用」をテーマに設定して解決策を検討した。

### 〈4〉解決策の提案

我々は〈3〉に挙げた問題の中でも、二つ目の「単位重視で授業が疎かになっている」という点に着目した。そして、解決策として提案したのが「ICTを用いた新たな授業のフィードバック方法」である。具体的には、前年度履修者およびOB・OGのレビューや、授業風景の動画を教員・職員・在学生に対して公開すること等を行う。そして、このフィードバックを閲覧し、授業の内容を確認したうえで履修登録をすることで、授業に対する期待と実際の授業とのギャップの醸成を防ぐ、というものである。この試みを実現するには、教員、受講経験者、OB・OG等への働きかけが必要になる。また、職員が単なるアンケート結果を教員に返すのではなく、寄せられたレビュー等に対し、正確かつ有用な分析を行い、教員に伝えるというアプローチも欠かせない。更に、討議の中では「授業内容を公開することは、大学の存在価値を揺るがすのでは？」との声もあがった。この懸念事項に対しては、公開コンテンツを限定する、学生参加型授業を増やす、講義内容を毎年同じものではなく、常にブラッシュアップする等の対策が必要になると考えた。以上の解決策が上手くいけば、学生が授業を単なる「単位のための授業」ではなく、「単位も取れるが、自分のためになる授業」という認識を持ってくれるのではないかと、という結論に至った。

### 〈5〉総括

今回の研修では、大学の役割の中の「人材育成」にスポットをあて、「ICTの人材育成への活用」というテーマを設定し、授業選択をする上でICTを活用するということを提案した。ICTと聞くと身構えてしまうことが多いが、ICT教育は現代では不可欠のものであり、ハードルの高いものではない。「何のために(最終目的)」ということを明確にした上で、ICTを大学の授業、管理運営に取り入れることは、現状の課題を打開できる可能性があり、よりよいキャンパスに到達することを可能にしていく。今回の研修で学んだことを活かして、今後、ICTを活かした課題解決案を提示できるようにしていきたい。

以上